



花いっぱい 笑顔あふれる まちづくり!

きれいな花を見ていると、落ち着いた気持ちになりますね。

普段何げなく通る歩道には、春から秋にかけて色とりどりの花が次々と咲いています。区内には、地域全体を花いっぱいにしてようと頑張っている人がたくさんいます。



▲講習会では基礎からしっかり学びました

「ルピナス」を 街のシンボルに

「花が好き、笑顔が好き、大好き藤野」が合言葉の藤野地区。花づくりを通して地域の交流を広め、連帯感の強い街にしようと、平成十三年から「花いっぱい運動」を行っており、今年で三年目になります。

昨年六月に、地域の花好きの人が集まり、「花愛好会藤野」を結成しました。藤野地区まちづくり委員会と協力し、園芸講習会を開催したり、先進的なガーデンングの見学会を行ったり、さまざまな取り組みを行っています。
二度の園芸講習会には、花



▲見学会はとても勉強になりました

愛好会のメンバーを中心に、延べ百六十人が参加。定植や花の管理などを学び、真剣にメモを取ったり、講師に熱心に質問したりしていました。十月には来年に向けた準備の講習会も企画されています。

七月二十四日、ガーデンング見学会が行われ、九十七人が由仁町を訪問。オープンガーデンと英国風庭園を見学し、花の美しさを楽しんだり、自宅での庭造りのアイデアを考えたたり、それぞれに有意義な時間を過ごしました。

このような活動の積み重ねにより、花づくりの輪が広がっています。藤野地区では、平成二年に町内会連合会の会報の名前を決めるときに、発

展していく藤野を「昇り藤」にたとえて、ラテン語の「ルピナス」と名付けました。それ以来、ルピナスは地域の花として親しまれています。

たくさんの人に 美しい花を

市では、歩道の美化を目的に、昭和五十二年から市道にある植樹柵などに花を植えるため、「歩道美化事業」を行っています。今年度は、区内で三万七千六百十一株、藤野地区には七千五百五十五株を用意。配られた花苗を地域の皆さんが、市道の植樹柵などにきれいに植えました。

藤野地区では、市道ばかりではなく、地域の幹線道路である国道230号沿線も美しい花でいっぱいにしてしようと、地域独自で花植えを計画しました。六月八日午前五時三十分、本通町内会の皆さんが中心となり、地域の花であるルピナスや南区の花であるコスモスなど数種類の花を植えました。

今年からは、商店街の皆さんも協力し、日々の散水を担当するなど、地域全体での運動に広まりつつあります。